

② 福祉避難所等の指定

天王寺区では、区内福祉施設との連携・協議を進め、要配慮者のための避難場所となる福祉避難所の指定を進めています。

さらに、天王寺区社会福祉協議会(ゆうあい)や区内の看護専門学校、福祉専門学校と連携し、高齢者や心身に障がいのある人など、避難所での生活に支援を要する人を支えるボランティアの確保を進めます。

【これまでの取組み状況】

- 福祉避難所 10ヶ所を指定しました。
天森養護老人ホーム、四天王寺きたやま苑、四天王寺たまつくり苑、高津学園、ホテルアウィーナ大阪、天理教大阪教務支庁、天理教大江大教会、有限会社クローバーホーム、ポミエ上本町、大阪府助産師会
- 女性の方等に配慮した避難所1ヶ所を指定しました。
クレオ大阪中央
- 災害時に避難所開設を行う際、福祉避難室を確保します。

③ 帰宅困難者対策

帰宅困難者とは、災害の発生により公共交通機関が停止した際、勤務先や外出先等から自宅までの距離があり、徒歩で帰宅することが困難な人のことです。

天王寺区では、天王寺駅、鶴橋駅、大阪上本町駅などのターミナルの利用者、学生、買い物客など、約 2 万 5 千人の帰宅困難者が発生する^{*6}と想定されています

【これまでの取組み状況】

- 帰宅困難者向け一時滞留スペースを確保しました。
ホテルアウィーナ大阪
- 市危機管理室、隣接区と連携を図りながら、区内企業・学校等に対して、帰宅困難者の発生抑止のため「とどまる」思想の徹底、企業における従業員等向けの災害用非常物資の備蓄等、対応すべき帰宅困難者対策の検討を進めています。
 - ・ 天王寺・阿倍野駅周辺地区帰宅困難者対策協議会、上本町・谷町九丁目・鶴橋駅周辺地区帰宅困難者対策協議会の設立
 - ・ 帰宅困難者対策協議会参加企業、事業者の参加による帰宅困難者対策合同実働訓練の実施



⁶ 出典:第 5 回南海トラフ巨大地震対策等検討部会資料

④ 避難場所案内標識の整備

電柱等に災害時避難所への誘導標識の掲示をしました。

【これまでの取組み状況】

- 電柱等 400 基に災害時避難所への誘導標識を掲示しました。



⑤ 災害時医療救護活動用医薬品等の整備

災害時初期の医療救護体制を整え、医療救護活動が円滑に実施できるよう、必要な医薬品等を循環備蓄しています。

【これまでの取組み状況】

- 医療法人警和会第二大阪警察病院、一般社団法人天王寺区薬剤師会と協定を締結し、災害時医療救護に必要な医薬品等を循環備蓄として配置しました。

種別等		薬品名	数量
糖尿病薬	DPP-4 阻害薬	グラクティブ錠 50mg	300 錠
	速効型インスリン 分泌促進薬	シュアポスト錠 0.5mg	300 錠
鎮痛薬		ロキソプロフェン錠 60mg「EMEC」	3,000 錠
		カロナール錠 500	3,000 錠
抗菌薬		レボフロキサシン錠 500mg「DSEP」	1,200 錠
		オーグメンチン配合錠 250RS	270 錠
		ケフラールカプセル 250mg	300 カプセル
消毒薬	エタノール	ステリコットα	18,000 包
	次亜塩素酸	ミルトン(450mL/本)	36 本

⑥ 自然災害時における感染症対策

令和2年に発生した新型コロナウイルス感染症の蔓延を踏まえ、避難所における避難者の過密抑制など感染症対策の観点を取り入れた防災対策を行いました。

【これまでの取組み状況】

- 新型コロナウイルス感染症に感染している疑いがある方の避難スペースを区内に 1 ヶ所確保しました。
- 災害時に発熱や咳の症状がある方を避難させる「熱・咳症状者療養スペース」を各災害時避難所に確保しました。
- 避難所で感染症対策として必要な物資(非接触式体温計、飛沫防止フィルムなど)を新たに備蓄しました。

(2)避難生活環境の整備

① 備蓄物資の配備

区では、大規模災害に備えて、区役所及び災害時避難所等に、物資を備蓄しています。

区役所	【食料品関係】 ペットボトル入り飲料水、アルファ化米、ビスケット、粉ミルク、液体ミルク、哺乳ビン、やかん、給水袋、カセットコンロ、ボンベ 【衛生用品関係】 バスタオル、トイレトーパー、紙オムツ、ナプキン、簡易トイレ及び抗菌性凝固剤、トイレ処理袋、救急薬品セット、マスク 【衣類関係】 防災服、防寒服、安全靴、ゴム長靴、ヘルメット、雨合羽 【救助資器材関係】 バール、のこぎり、ジャッキ、シャベル、ロープ、かけや、手斧、救急セット、布担架、救助工具セット、リヤカー 【その他】 ブルーシート、毛布、懐中電灯、ハロゲン・ビームライト、テント、発電機(ガソリン・カセットガス)、ガソリン携行缶、ラジオ、手力充電式ラジオ付ライト
災害時避難所	【食料品関係】 ペットボトル入り飲料水、アルファ化米、ビスケット、やかん、給水袋 【衛生用品関係】 簡易トイレ及び抗菌性凝固剤、トイレ処理袋、アルコール消毒液、マスク、ペーパータオル、ペダル式ごみ箱、ごみ袋、飛散防止シート 【救助資器材関係】 バール、のこぎり、ジャッキ、シャベル、ロープ、かけや、手斧、救急セット、布担架、リヤカー 【その他】 毛布、エマージェンシーブランケット、懐中電灯、乾電池、ラジオ、ブルーシート、エアーマット、エアーベッド、カセットガス発電機、LED投光機、やかん、カセットガスコンロ、折り畳み式ヘルメット、折り畳み式アルミマット、折り畳み式テント、救急セット、スタンド看板、手力充電式ラジオ付ライト、LEDソーラーランタン、折り畳み式簡易ベッド、避難所受入セット、補聴器用電池、筆談用ホワイトボード、「耳マーク」入りビブス、事務用品

【これまでの取組み状況】

- 逐次、災害時避難所の備蓄品の充実を図っています。
平成 30 年度以降に充実した備蓄品
災害用プライベートテント、組立式簡易トイレ、LEDソーラーランタン、ペーパータオル、ペダル式ごみ箱、飛散防止シート、ハンドメガホン、エアーベッド など
- 災害時に必要なトイレの備えとして、抗菌性凝固剤を避難者が 3 日間使用する分量を整備しました。
- 聴覚障がい者の避難者に向けた支援物資として、補聴器用の電池、筆談を可能にする手持ちのホワイトボード、「耳マーク」入りのビブスを整備しました。



非常食の公的備蓄

大阪市では、令和 2 年 12 月に定めた「大阪市避難所運営にかかる備蓄計画」に基づき、地域における最大の被害想定となっている南海トラフ巨大地震の想定避難所生活者数約 53 万人に対する 3 日分の備蓄量を、大阪府と共同で備蓄することとしています。

令和 3 年 3 月現在、約 170 万食(アルファ化米、ビスケット、おかゆなど)を備蓄しています。

また、近隣市との物資の相互融通協定、民間事業者からの物資の供給等を推進しており、賞味期限及び消費期限の到来まで原則 1 年未満の備蓄物資については、訓練や市民啓発に活用するなど食品ロスの削減に努めています。

これらの物資の供給が整うまで間は、各家庭で 7 日程度の飲料水、食糧、衣類、生活用品などの準備をお願いします。



② 災害用マンホールトイレの整備

災害用マンホールトイレとは、地震などの大規模災害時に、汚水(し尿)処理に活用できるマンホールのことです。

災害時は、建設局職員がマンホールのふたを開けて、トイレを設置したり、汚物の投棄場所として活用します。



【これまでの取組み状況】

- 災害用マンホールトイレを 60 ヶ所整備しました。

③ 高層マンション等集合住宅における救助資器材等の配備

一時避難場所や災害時避難所から離れており、備蓄物資を保管するスペースを提供(協力)して頂ける高層マンション等集合住宅に、救助資器材等をマンション住民や周辺住民が災害時に活用できるよう配備しました。

【これまでの取組み状況】

- ・ 6 ヶ所のマンション等に協力いただき、救助資器材等を配備しました。

ライオンズマンション天王寺(堀越町) コスモ真田山公園(舟橋町)
 イニシア上町台筆ヶ崎(筆ヶ崎町) リーディア玉造駅前(玉造元町)
 エステムプラザ大阪セントラルシティ(上本町 6 丁目)
 大阪市営筆ヶ崎住宅(筆ヶ崎町)



④ かまどベンチの設置

一時避難場所に避難した人達や自宅で被災生活を送る人たちが、協力して炊き出しを行なったり、暖をとれるよう環境の整備を行いました。

【これまでの取組み状況】

- 9ヶ所の一時避難場所(公園)に、かまどベンチを10基設置しました
- | | | |
|----------|----------|-----------|
| 稲生公園(1) | 上八公園(1) | 寺田町公園(1) |
| 五条公園(1) | 石ヶ辻公園(1) | 上汐公園(1) |
| 東上町公園(1) | 小橋公園(1) | 真田山小公園(2) |



(3)区民・企業のポテンシャルの発揮

① マンション防災対策の充実

天王寺区では世帯の85%がマンションなど共同住宅に居住⁷しており、高層マンションが非常に多いという地域特性があることから、マンションに特化した防災対策のあり方を周知し、マンション単位での防災対策の充実を図っています。



【これまでの取組み状況】

- マンション居住者を対象とした防災出前講座を開催し、(家庭内備蓄や家具転倒防止など)在宅避難のノウハウや、自主防災組織づくりに必要な取組(※)を説明
 - (※)災害時居住者名簿の作成
 - 居住者の安否確認方法や災害時のルール作り
 - 災害対策本部の役割の設定 など
- マンションと地域との連携を想定した防災訓練の実施
- マンション防災にかかる啓発ポスターの作成、掲示
- マンションにおける防災対策をまとめた「高層マンション防災ハンドブック」の発行
- 災害時のマンションを想定した体験型防災講座「学ボーサイ」の実施



在宅避難しているマンションと地域との災害時の連携について

⁷ 令和2年国勢調査 人口等基本集計

② 区民の自助力・共助力の向上

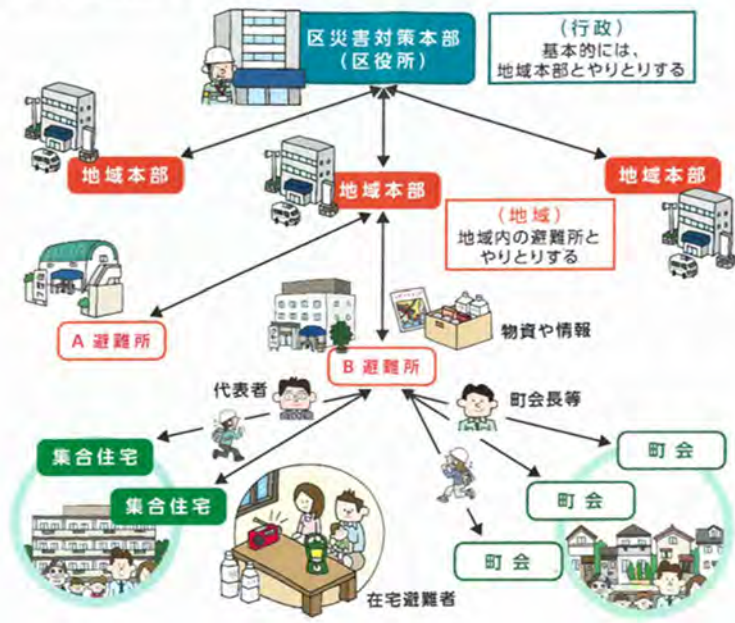
災害被害を軽減するためには、自助・共助・公助の連携が重要です。

区役所では、これまで区民の皆さんの自助力・共助力の向上を支援してきました。

【これまでの取組み状況】

- 地域や学校、団体の会合など様々な機会をとらえて行う防災出前講座
- 防災啓発動画の配信（コロナ禍を機に開始）
- 避難所開設・運営訓練
- 広報紙「天王寺」への防災特集記事の掲載
- 地域別防災マップを含む地域別防災計画（概要版）の作成と配布
- 家具転倒防止対策啓発
- 安心安全カードの普及
- 区内関係機関との防災に関する協議等を通じた防災力の向上に向けた取組
- 福島県南相馬市との災害対策パートナーシップ協定の締結

災害時における地域の連携イメージ／



【これからの取組み】

- 「避難行動要支援者支援体制」の構築
大規模災害発生時、避難等に困難を伴う避難行動要支援者の支援体制の構築に取り組みます。



③ 区内企業の自助力・共助力の向上

天王寺区内には約 6,000 の事業所があり、約 64,000 人の方が働いています。^{*8}

天王寺・阿倍野駅周辺地区、及び上本町・谷町九丁目・鶴橋駅周辺地区の帰宅困難者対策協議会に参加し、市危機管理室とともに区内企業に対して、帰宅困難者の発生抑止のため「とどまる」思想の徹底、従業員向けの災害用非常物資の備蓄を促します。

⁸ 平成 28 年経済センサス 基礎調査結果